

耳を傾ける

リーダー・管理職は部下に対して「**耳を傾ける**」よく言われることですが、なかなか簡単なようで実行できない人が多いのではないのでしょうか。業務に追われて時間がない、自分の想いと考え方が違ってないか、聞きすぎても良くないのではないか、聞いても処理しきれないのではないか等々よぎって、その時間を作れないのではないのでしょうか。

積極的なリーダー・管理職は時間を見つけて、自分の考えを話し、部下の考えや意見を聞こうとしています。それは一生懸命部下の話を聞けば、部下は「**やる気を出す**」ようになり、上司に良い報告をし、褒められたいと「**一生懸命頑張る**」ことを知っているからです。そうすると部下から尊敬される存在になり、なによりも自然に情報が集まってくることになります。

部下に物を尋ね、意見を求める管理職こそが「**尊敬され信頼される**」ことになっていきます。同じ情報でも報告する部下によって少しずつ異なった視点があります。既に知っている情報であっても初めて聞いたような雰囲気聞くことが話を聞くコツとなります。

部下にやる気を起こさせ生き活きと仕事をさせるために、**持ってきた情報を評価するのではなく持ってきた人の努力や勇気を評価してあげる**ことです。

積極的に声をかけ、耳を傾ける時間を作っていくと良いコミュニケーションが生まれ、部下は生き生きと輝いて、積極的な行動に走っていくのではないのでしょうか。

結果は必ずや業績向上に結び付いていくと思います。

あなたも今日から始めてみましょう。

